

自然観察通信

令和3年5月9日 丸加山自然観察の森

連休中も雨で気温も上がらず、谷筋には残雪もあり、今回の観察会は残念ながら、春爛漫という感じではないですね。文学の小径の木道改修もはいつており、花も少ないようですが、それでもエンレイソウの類が観察できるとおもいます。また、冬芽観察会でみた木々たちが芽吹き、カエデの類は花をさかせています。冬芽の頃と比較してみると、植物たちの変化のダイナミックさが実感できます。またサクラも開花しており、こちらもしっかり観察してみましよう。自然観察の森は、標高約150mで江部乙公園より100m高く、手入れされた2次林が中心ですが、沼地や草原もあり多彩な環境です。沼地にはエゾサンショウオの卵塊もみられることがあります。アカゲラなどのドラミングも聞こえてくるかもしれませんので、耳もすませてみてください。

今日の出会

エンレイソウ、オオバナノエンレイソウ、ヒトリシズカ、エゾイチゲ、ニリンソウ、ザゼンソウ、オクノカンスゲ、ナニワズ、ミヤマスミレ・・・などの花たち
イタヤカエデ、ハウチワカエデ、キタコブシ、エゾヤマザクラ・・・など木々の花
オオカメノキ、コシアブラ、ヤマウルシ、シナノキ・・・などの芽吹き

※ 次回は6月13日(日) 8時30分 北辰の森駐車場でお会いしましょう。

来年の全道フラワーソン(開花調査)にむけて、フィールドに咲いている花をカウントします。会員限定ですが、申し込みをお願いしています。